

インターンシップのてびき

(平成27年5月改訂)

- ・ 知床財団のインターンシップとは
- ・ 勤務地と勤務内容
- ・ インターンシップ活動中の服装（屋内）
- ・ 野外活動の装備と持ち物
- ・ 宿泊施設について（知床自然教育研修所・羅臼研究支援センター）

知床財団のインターンシップとは

知床財団では、知床の自然を知り、守り、伝えるために、また、国立公園の実働機関として、各種業務に取り組んでおります。

インターンシップにおいて就業すると想定される業務は概ね以下のとおりです

- 動植物調査の現地作業補助、サンプル処理、データ整理
- 森林再生事業に関わる、現地調査、実作業
- 羅臼ビジターセンター・知床自然センター・知床五湖フィールドハウスでの来館者対応、施設管理業務
- 展示物の作成やイベントの開催補助
- 野生動物対策の現地作業補助、データ整理
- その他、知床財団の実務全般

* 専攻に関連する業務に就業できるよう、調整はいたしますが、こちらの都合によりその他一般業務にも就いていただくこととなります。予めご了承ください。

実りある体験となりますよう、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

公益財団法人知床財団 担当：坂部

Eメール：intern@shiretoko.or.jp 電話：0153-87-2828（羅臼ビジターセンター内）

インターンシップのてびき

勤務地と勤務内容

実習生は、下記 4 施設に配属される予定です。

配属地により、生活拠点が異なりますのでご注意ください。

各人の基本となる配属先は、採用時にお知らせしています。各施設の特徴も併せて下記参照下さい。

①羅臼ビジターセンター（羅臼町）

<http://rausu-vc.jp/>

知床財団羅臼地区事業系の拠点施設です。羅臼ビジターセンター来館者へのインフォメーションや展示物の更新などに加え、羅臼地区での調査研究、野生動物対策の各業務を総合的に行っています。

②国設知床鳥獣保護区管理センター（斜里町）

知床自然センターの隣に位置しており、保護管理研究係と普及研修係の拠点施設です。大型哺乳類を中心とした野生動物対策や各種調査研究業務の拠点となっています。

③知床五湖フィールドハウス（斜里町）

<http://www.goko.go.jp/index.html>

知床最大の観光スポットである知床五湖にある施設で、平成 22 年度にオープンしたばかりです。知床財団は環境省に代わり、立入りを認定する「指定認定機関」として五湖FHでの業務を行っています。

④知床自然センター（斜里町）

<http://center.shiretoko.or.jp/>

情報係・総務管理係の拠点施設となっています。知床国立公園の最も古くからあるビジターセンターであり、来訪者へのインフォメーション業務を担っています。また、財団業務全般の事務を取り仕切る場でもあります。

実習期間中は、各人の配属先の拠点施設に勤務し、専任の指導スタッフの指示のもとに業務にあたります。ただし、全体の業務スケジュール次第では、他の係や施設での業務に兼務して頂くこともあります。

従事する業務の内容は配属先によっても異なりますが、基本的に知床財団の行うすべての業務に従事していただく可能性があります。

野生動物対策や調査・研究の補助から、インフォメーションカウンターでの接客業務まで、幅広い業務内容がありますが、そのすべてが、知り・守り・伝える最前線です。

知床財団の業務についての詳しい内容は、知床財団のウェブサイト <http://www.shiretoko.or.jp/> をご覧ください。

インターンシップ活動中の服装（屋内）

制服（長袖 Y シャツ）を貸出します。長ズボン（なるべく速乾性のある化繊のもの、G パンは不可）を着用してください。インフォメーションでの受付業務をしていただくこともあります。お客様に不快な気持ちを抱かれないよう、身だしなみには留意ください。

野外活動の装備と持ち物

インターンシップ期間中に、国立公園のパトロール、森林再生作業など、野外での仕事、キャンプ泊での野外調査などを行ってもらう場合があります。

野外での活動を行う場合、下記のような持ち物が必要になります（夏季）。

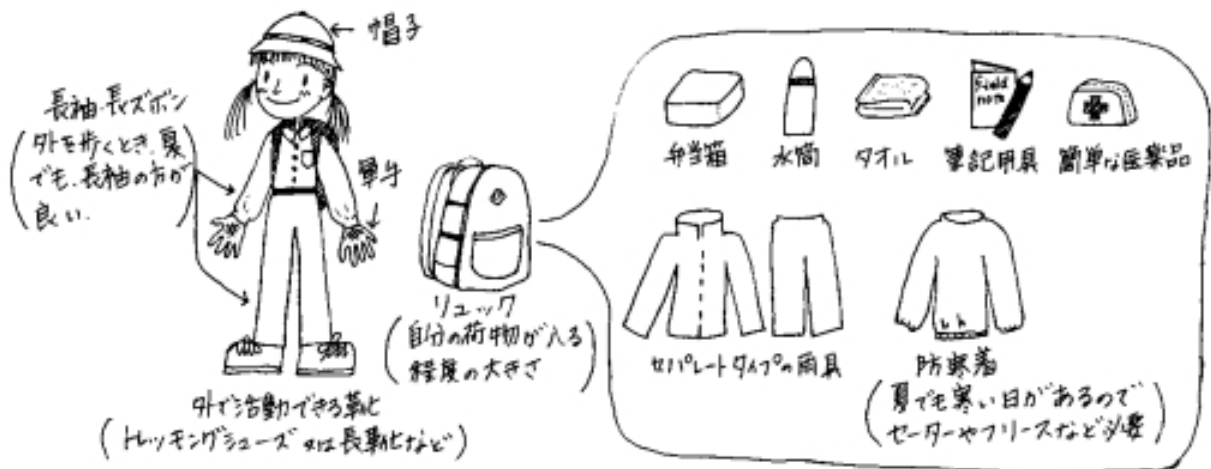
- 弁当または弁当箱（野外で食事をとる場合があります。勤務場所では弁当は販売していません）
- 水筒
- 雨具（セパレートタイプのもの。防水・透湿性のあるゴアテックス製などが望ましい。ただし、野外での活動の場合は汚れるので、素材にこだわらず汚れても良い雨具を使うことをお勧めします）
- 帽子
- 軍手
- トレッキングシューズ
- 長靴（野外作業時や積雪期の活動に必要です。用意できない場合は、ご相談ください。）
- セーターやフリースなどの防寒着（夏でも朝晩や悪天時は寒い場合があります）
- タオル
- 筆記用具
- リュック（自分の荷物が入る程度の大きさ）
- 長袖のシャツと長ズボン（なるべく速乾性のある化繊のもの）
（冬季の服装については、別途ご案内します）

あれば便利なもの

- 双眼鏡
- 図鑑

宿泊施設（知床自然教育研修所・羅臼研究支援センター）を利用する場合

- 寝間着・歯ブラシなど宿泊に必要なもの
- 内履き（備付のスリッパはありますが、あれば便利）



* 季節や活動内容によって必要なものは変わりますので、担当までご相談下さい。また、こちらでお貸して
きるものもあります。

斜里町ウトロでの宿泊施設（知床自然教育研修所）

知床自然教育研修所は、知床国立公園や周辺地域での調査研究、ボランティア活動、研修や視察を行う人が利用できる自炊式の宿泊施設です。

インターンシップの皆さまは、期間中宿泊が可能です。別途宿泊費が必要ですが、割引料金でご利用いただけます。活動期間の前後に宿泊することも可能ですので、ご検討の方は担当者までお問い合わせください。

- * 当施設の宿泊に関しては、該当目的以外の利用はできませんのでご了承ください。
- * 基本的には男女別の相部屋になります。

利用料金

宿泊料金：600円／1泊（通常1000円）
（その他、シーツ代500円がかかります）

設備

共同の台所、食堂、風呂、トイレのほか、6部屋（10帖×2部屋、8帖×4部屋）が完備されています。テレビ、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、トースター、ガス台、調理器具、食器、調味料、米が備えられています。

* 自炊をする方は、米・調味料以外の食料品については各自ご用意ください。

利用に際してのお願い

- * 研修所は共同の宿泊施設です。周りの人に配慮して、清潔に利用しましょう。
- * 退去時には各自で掃除をしていただきます。
- * 宿泊時に、他の利用者と相部屋（男女別）になることもありますので、あらかじめご了承ください。

研修所の所在地

北海道斜里郡斜里町ウトロ東
* 電話・インターネット設備はありません

研修所周辺の交通

知床自然センターまで：車で10分（約5キロ）
ウトロバスターミナルまで：徒歩10分
スーパーやコンビニエンスストアまで：徒歩10分

知床自然教育研修所は海を見下ろす高台の上にあります。

- ・ ウトロ交番の向かいの坂を上り、突き当たりを左折します。
- ・ さらに進んで、突き当たりを左折します。
- ・ まっすぐ進むと、突き当たりの木立の中に研修所があります（町営温泉夕陽台の湯と同じ敷地です）。

【ウトロの地図】



1. ウトロバスターミナル
 2. スーパーみたに
 3. セイコーマート（コンビニ）
 4. 郵便局
 5. ガソリンスタンド
 6. ウトロ漁村センター
 7. 消防署
 8. 夕陽台の湯（温泉：夏期のみ）
- ⑨ 知床グランドホテル
⑩ 知床プリンスホテル
⑪ 知床花ホテル
⑫ 知床第一ホテル

羅臼での宿泊施設（羅臼研究支援センター）

羅臼研究支援センターは、知床国立公園や周辺地域での調査研究、ボランティア活動等を行う人が利用者できる自炊式の宿泊施設です。

インターンシップの皆さまは、期間中宿泊が可能です。別途宿泊費が必要ですが、知床財団が1泊400円補助します。活動期間の前後に宿泊することも可能ですので、ご検討の方は担当者までお問い合わせください。

- * 当施設の宿泊に関しては、該当目的以外の利用はできませんのでご了承ください。
- * 基本的には男女別の相部屋になります。

利用料金

宿泊料金：600円／1泊（通常1000円）

（その他、シーツと布団カバーなどのクリーニング代実費がかかります。）

設備

共同の台所、食堂、風呂、トイレのほか、4部屋（6帖×2部屋、2段ベッド二つ×2部屋）が完備されています。洗濯機、ハンガーなどの物干し器具、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、トースター、ガス台、調理器具、食器、調味料が備えられています。

* 自炊をする方は、調味料以外の食料品については各自ご用意ください。

利用に際してのお願い

- * 研修所は共同の宿泊施設です。周りの人に配慮して、清潔に利用しましょう。
- * 退去時には各自で掃除をしていただきます。
- * 宿泊時に、他の利用者と相部屋（男女別）になることもありますので、あらかじめご了承ください。

研修所の所在地

北海道目梨郡羅臼町湯ノ沢町388

* テレビ・電話・インターネット設備はありません

アクセス

羅臼ビジターセンターまで：徒歩10分

羅臼バスターミナルまで：徒歩20分

コンビニエンスストアまで：徒歩40分